



また、当県人会の活動につきまして、日頃より多大な御支援、御協力を賜り、この場をお借りして御礼申し上げます。

お陰をもちまして、当県人会は昨年度、創立45周年の節目を迎えましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、記念事業はおろか、例年開催しているふるさと全国県人会まつりなどの多くの活動が中止を余儀なくされました。今年度は気を取り直して、創立50周年に向けて新たなスタートを切りたいところでございましたが、未だ感染拡大の収束が見込めないことから、活動が難しい状況が続いております。現在、収束後の活発な活動再開に向けて検討を進めておりますので、



東海福島県人会会長
関本 幸夫

いあいかり



発行所
福島県名古屋事務所内
東海福島県人会事務局
〒460-0008
名古屋市中区栄4-16-36
久屋中日ビル5階
TEL (052) 242-5216

Vol.46 (令和3年)

皆様方にはこれまで以上にお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

さて、昨年度は、福島市出身の昭和を代表する作曲家である古関裕而さんとその妻で豊橋市出身の古関金子さんをモデルとしたNHK連続テレビ小説「エール」が放送され、古関メロディーとともに福島の魅力が全国に届けられました。これを契機に、福島県と愛知県で、各々の物産展が定期的に開催されるなど、交流を深めることができ、当県人会の放送誘致活動の成果であると非常に喜ばしく感じております。

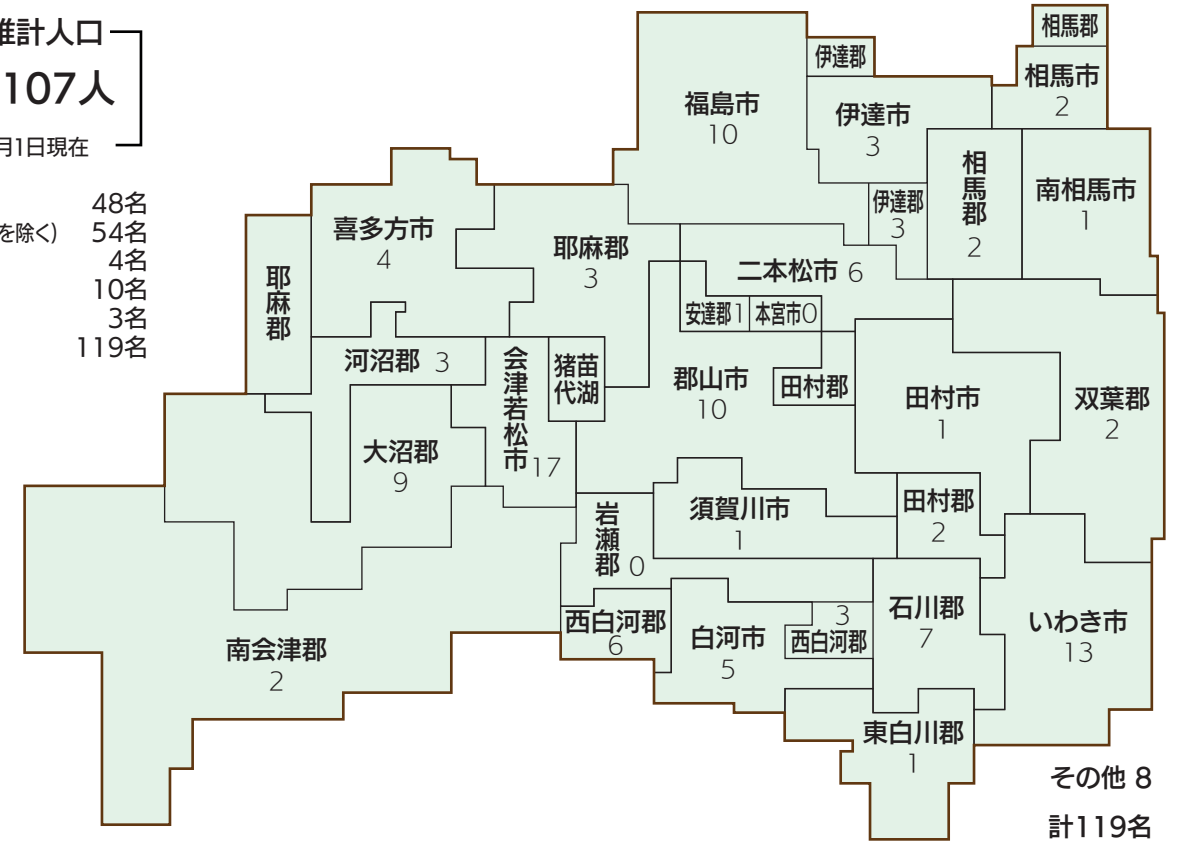
また、10月から11月にかけて、福島空港の開港以来初めてとなる、フジドリームエアラインズによる中部国際空港と福島空港を結ぶチャーター便ツアーが実施され、当県人会から私を含む6名が参加しました。東日本大震災及び福島第一原発事故から10年を迎え、着実に復興する福島県の現状を知るとともに、コロナ禍で厳しい状況に置かれている観光産業に対して、当県人会として貢献することができました。今後も県人会活動を通じて、福島県への積極的な支援に取り組みで参ります。

最後に、当県人会の更なる発展のため、皆様方からの忌憚らない御意見をお願いいたしますとともに、皆様方の御健勝と御多幸を祈念いたしまして、挨拶とさせていただきます。

会員出身地別分布表 (令和3年9月30日現在)

福島県の推計人口
1,813,107人
令和3年10月1日現在

- ・名古屋市 48名
- ・愛知県(名古屋市を除く) 54名
- ・三重県内 4名
- ・岐阜県内 10名
- ・その他 3名
- 計 119名



東海福島県人会役員等名簿 (令和3年10月1日現在)

役職名	氏名	新・再任	出身地	専門委員会	役職名	氏名	新・再任	出身地	専門委員会
会長	関本 幸夫	再任	喜多方市		相談役	伊藤 盛恵	〃	西会津町	
副会長	小室 洋文	〃	中島村	企画	〃	岩崎 信彦	〃	相馬市	
〃	野地 次雄	〃	二本松市	広報(長)	〃	太田 賢一	〃	福島市	
〃	平井 松枝	〃	いわき市	企画	〃	大東 祥順	〃	会津若松市	
〃	三井 正春	〃	会津若松市	組織(長)	〃	大原 隆弘	〃	〃	
〃	湯浅 武美	〃	喜多方市	企画(長)	〃	下山田二三夫	〃	中島村	
専務理事	市川 友久	〃	白河市		〃	高橋 信雄	〃	二本松市	
常任理事	大内 哲男	〃	会津美里町	企画	〃	平塚 武	〃	会津若松市	
〃	小林 秀明	〃	会津若松市	広報	〃	増子 富毅	〃	郡山市	
〃	佐竹 正和	〃	会津美里町	組織	〃	柳内 芳彦	〃	いわき市	
監事	前野 康夫	〃	会津若松市		事務局長	佐藤 敏行		会津若松市	

合計21名 企画委員会/4名 組織委員会/2名 広報委員会/2名



福島県知事
内堀 雅雄

東海福島県人会の皆様には、ますます御清栄のこととお喜び申し上げます。

貴会は、昭和50年の発会以来、関本会長を始めとする歴代の役員並びに会員の方々のふるさとへの熱い思いと御努力により、会員相互の親睦を深められるとともに、東海地域と福島県との交流の輪を広げながら着実に発展してこられました。

心から敬意を表しますとともに、これまで本県が賜りました様々な御支援、御協力に厚く御礼を申し上げます。

東日本大震災と原発事故から10年半が経過する中、県人会の皆様を始めとする国内外からの温かい御支援と県民の懸命な御努力により、避難指示区域の解除が進むとともに、県産農林水産物が国内外で高い評価を頂くなど、本県の復興は着実に前進しております。また、5月に開催された全国新酒鑑評会においては、県内から17銘柄が金賞に選ばれ、史上初の金賞受賞数8回連続日本一という快挙を達成するなど、これまでの取組の成果がしっかりと形になって現れております。

一方で、廃炉と汚染水・処理水対策、風評と風化の問題、令和元年東日本台風や今年2月の福島県沖地震からの復旧、さらには、今般の新型コロナウイルス感染症への対応など、本県は多くの困難な課題を抱えております。

県といたしましては、こうした様々な困難を乗り越えるため、ふるさとの発展に思いを寄せてくださる県人会の皆様と心をつなしながら、「ひとつ、ひとつ、実現する ふくしま」という新スローガンの下、復興と福島ならではの地方創生の実現に向け、果敢に挑戦を続けてまいりますので、二層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、東海福島県人会のますますの発展と、会員の皆様の御健勝、御活躍を心からお祈り申し上げます、お祝いの言葉といたします。



愛知県知事
大村 秀章

東海福島県人会の皆様におかれましては、ますます御清栄のこととお慶び申

し上げます。

貴会が、1975年の設立以来、今日に至るまで会員相互の親睦を深めるとともに、着実に発展してこられましたのは、関本会長を始め会員の皆様方の並々ならぬ御努力の賜物と、深く敬意を表する次第であります。また、この機会に愛知県政の推進に格別の御理解と御支援を賜っておりますことを心から感謝申し上げます。

本年3月をもって、東日本大震災の発生から10年が経過いたしました。

3月11日には、本県におきましても県庁舎に弔旗を掲揚し、震災で亡くなられた方々に謹んで、哀悼の意を表させていただきました。被害にあわれた皆様へも、改めてお見舞いを申し上げます。

本県では、震災直後から「被災地域支援対策本部」を立ち上げ、一日も早く被災地域が復旧・復興をとげ、被災者の皆様が生活を再建していただくことができるよう、様々な支援を続けてまいりました。

今も、本県には800人を超える方々が被災地域から避難されており、長引く避難生活での不安やストレスを抱えておられることと思います。本県といたしましても、被災者の皆様への個別訪問や交流会等を開催するほか、保健師による健康相談などの心や体のサポートを行っているところであります。

きを踏まえた「新次元の地方分散」の3つへの対応が、今後の重要な政策課題として浮かび上がってきたと考えています。特にDXについて、本県では「政策総点検」として、行政に限らず、あらゆる分野にもたらす影響を徹底的に洗い出し、その対応策について議論、検討を進めており、年度内には、「岐阜県DX推進計画」を策定する予定です。

デジタルの限界も見極め、アナログの必要性も十分考慮しながら、「誰一人取り残されないデジタル社会」の構築を目指して施策を展開していきます。

今後、新型コロナウイルス対策に万全を期しながら、アフターコロナ社会を見据えた新たな「清流の国ぎふ」づくりを進めてまいりますので、皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。

結びに、貴会の今後の益々のご発展と、会員の皆様のご活躍、ご健勝を祈念いたしました、ご挨拶といたします。

今後、引き続き被災地からの要請や被災者の皆様のニーズに合わせ、職員の長期派遣や住宅の提供など、きめ細やかな支援を行ってまいります。

さて、昨年からの全国的に猛威を振るう新型コロナウイルス感染症については、愛知県でも感染防止対策の取組が続いているところですが、いまだ新規陽性者数、入院患者数は多く、厳しい状況が続いています。

県民・事業者の皆様、医療関係者、市町村関係機関でオール愛知一丸となって、一日でも早く安心な日常生活と社会経済活動を取り戻していくことができるよう、今後とも御理解と御協力をいただきますようお願いいたします。

こうした中、本県は新たなビジネスの種となる「スタートアップ企業」を創出育成するとともに、総合的な拠点となることを目指して、「ステーションAi」の整備を、2024年の供用開始に向けて進めています。

また、愛知万博の理念を次世代へ継承し、愛・地球博記念公園の魅力と価値を二層高めるため、「ジブリパーク」の整備を進めており、県政150年となる来年の秋に開業する予定です。

今後、これらの主要事業に加え、感染症対策の更なる強化とともに、あらゆる経済対策に取り組んでまいります。



岐阜県知事
古田 肇

引き続き、東海福島県人会の皆様へ格別の御理解と御支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

東海福島県人会の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。また、日頃より岐阜県政に対するご理解とご協力を賜り、感謝申し上げます。

東日本大震災から10年が経過し、復興をテーマとした東京五輪・パラ大会も終了しましたが、現在も約1200人の福島県民の方々が岐阜県内で避難生活を送っております。

福島県の復興の一層の前進を切に願うとともに、本県においても引き続き、できる限りの支援を行ってまいります。

さて、新型コロナウイルスとの戦いは、既に1年半以上にも及んでいます。

過去最大となった第5波の中、本県においても、ピーク時には新規感染者数が連日300人を超えるなど、厳しい状況

に追い込まれ、愛知、三重両県とともに緊急事態措置地域に指定されましたが、「オール岐阜」「生命の防衛」「宣言」のもとで、医療関係者、自治体関係者、県民をはじめ多くの関係者の方々のご尽力により、9月末をもって、緊急事態措置の解除に至りました。

今後は、感染の再拡大に備え、軽症者、無症状者が急増した第5波の経験を活かして、宿泊療養施設の確保と機能強化をさらに進めるほか、臨時の医療施設の設置や、「非常時入院調整システム」の構築などにより、医療提供体制の再整備を進め、新型コロナウイルス「岐阜モデル」の根幹である「自宅療養者ゼロ」を堅持していきます。

また、ワクチン接種については、早い段階から、接種にあたる医療従事者の確保対策を充実させ、市町村における接種計画を県が丁寧なフォローするなど、「オール岐阜」体制で接種を進めてきた結果、全国1位のスピードで高齢者接種を完了しました。現在は、11月の早い段階までに、すべての希望者に接種を完了することができるよう、若年層への接種を加速させているところです。

一方、新型コロナウイルス対策を進める中で、地球規模の変革となる「デジタル・トランスフォーメーション(DX)」「SDGs・グリーン社会の実現」、そして地方回帰の動

「日本一」のふくしまをつくる

合戦場のしだれ桜 (二本松市) 北泉海岸 (南相馬市) 沼尻平 (尾瀬国立公園) 磐梯山と猪苗代湖のしぶき氷

福島民報社 本社 福島市太田町13-17 ☎(024)531-4111(代) 大阪支社 大阪市北区梅田3-4-5 毎日新聞ビル4階 ☎(06)6345-6317

☎0120-373-437 E-mail: hanbai@fukushima-minpo.co.jp

ご購読のお申し込み





三重県知事 一見勝之

東海福島県人会の皆様には、ますますご健勝のことと心からお慶びを申し上げます。

貴会におかれましては、昭和五十年の設立以来、長きにわたり会員相互の交流促進等の活動を続けてこられ、役員並びに会員の皆様のご努力に深く敬意を表します。また、日頃より様々な分野で三重県政にご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

東日本大震災から十年半余が経ちますが、三重県内には現在も七十名(九月末現在)の被災された福島県民の方々が長期にわたる避難生活を送られています。また、今年二月に福島県沖地震が発生し、被災された方も多くおられます。ご苦労はいかばかりかとお察し申し上げます。

三重県では、東日本大震災から十年を迎えた今年三月において、六日に東日本大震災十年啓発事業を実施するとともに、十一日に県主催の追悼式を開催しました。今後も、震災の記憶を風化させることなく防災・減災対策を行うとともに

に、福島県をはじめ東北地方の復興にむけて、三重県としても引き続き支援や交流・連携に取り組んでまいります。

私は今年九月に、三重県知事に就任いたしました。まずは、何をにおいても県民の安全安心を確保することが、県政の最重要課題と考えています。

中でも、新型コロナウイルスに対応することが急務であり、感染拡大を食い止めるためにあらゆる手だてを講じる必要があります。そのためには、予防と治療を車の両輪として推進していきます。ワクチン接種を一層推進し、特に若い世代への接種を推進するため、希望する方が円滑に接種できるような特別枠の設定などに取り組めます。さらに、治療法としては軽症者の重症化リスクを軽減させる抗体カクテル療法を推進する必要があります。今までの対策を検証し、どのような対策を講じていくべきかを取りまとめることをはじめ、全庁を挙げて最優先で取組を進めていきます。

災害への備えも重要です。南海トラフ地震等に備えるために、県土の強靱化を実現するとともに、事故災害にも対応するために、海上保安庁などでの経験を活かし、危機管理体制を一層充実します。防災・減災機能を強化するとともに、自然災害に備えたまちづくりを推進していきます。

・令和3年8月17日

令和3年度第1回役員会(書面開催)

○会報の発行

令和2年11月20日発行

○他の県人会等との交流

- ・全国県人会東海地区連絡協議会の各種事業
- ・北海道東北6県東海地区県人会連絡会の各種事業

親睦ゴルフコンペ

県人会親睦ゴルフコンペは年2回開催しております。

令和3年度は第50回親睦ゴルフコンペが令和2年11月4日(水)に開催され、岐阜県加茂郡八百津町の「さくらントリークラブ」にて29名の方が参加し、五十嵐強さんが優勝しました。

また、第51回親睦ゴルフコンペが令和3年4月7日(水)に開催され、岐阜県可児郡御嵩町の「ワールドレイクゴルフ倶楽部」にて31名の方が参加し、高橋英機さんが優勝しました。

参加を希望される方は事務局まで御連絡ください。

同好会の募集について

東海福島県人会では旅行やゴ

県内産業の振興、そして経済の活性化を図るとともに、あらゆる施策の総動員により、人口減少への対策を講じていく必要があります。三重県政百五十年の節目の年である二〇二六年を目標年として、三重県を一層元気にし、県民に夢を与え、目標をお示しするために、「みえ元氣プラン(仮称)」を取りまとめたいと考えています。

会員の皆様におかれましては、ふるさと福島県と同様に、三重県の取組に対して、引き続きご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

貴会のみますますのご発展と、会員の皆様のご健勝を祈念して、ごあいさついたします。



関西福島県人会 会長 鈴木直

東海福島県人会の皆様には、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

貴会が昭和五十年の設立以来、ふるさとを同じくする方々の心のよりどころとして、会員相互の交流を深め、発展を続けられてきたことは、同じ「ふるさと福島」を

思う当会としても誠に喜ばしい限りであります。これもひとえに閣下会長をはじめ、県人会を支えておられる会員各位の御尽力の賜と、敬意を表する次第であります。

さて、早いもので東日本大震災から10年目を迎えました。この間「ふるさと福島」は復興の歩みを着実に続けております。「東京オリンピック2020」は、コロナ禍での開催というかつてない形となったものの、県営あづま球場で無事に野球・ソフトボールが開催され、全国的に大きな話題を呼びました。本県の復興に向けた情報発信の機会に限られる形となりましたが、参加を促していた諸外国から福島県産桃が絶賛されるなど、明るい話題もあり大変嬉しく思います。

このような中で、私も関西福島県人会は、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、多くの活動が自粛を余儀なくされております。貴会におかれましては同様の状況かと存じますが、慎重でありながらも「どうしたらできるのか」という視点で、「ふるさと福島」の復興のために取り組んで参る所存であります。

お陰をもちまして、関西福島県人会は、63年を迎えました。しかし、近年では会員の平均年齢が高まり、活動が制限される状況の中で、会の活性化をいかに図っていくかが課題となっております。新入会員の交



福島のものを 買うならココ!

オンラインストアが9月1日OPEN

まいにち福島物産展

ふくふくマルシェ Marches

【公財】福島県観光物産交流協会【物産部】
福島県福島市三河町1番20号コラッセふくしま7階
TEL.024-525-4081
E-mail bussan05@fif.ne.jp
営業時間：9:00～17:00(土曜・年末年始休業)
※受付時間外のお問い合わせは登録受付の受付となります。

日本橋 福島県のアンテナショップ

日本橋ふくしま館 [MIDETTE(ミデッテ)]
●JR「新日本橋駅」より徒歩1分
●JR「神田駅」から徒歩5分
●東京メトロ「三越前駅」から徒歩3分
東京都中央区日本橋本町4-3-16 錦屋大洋ビル1階
TEL.03-6262-3977 FAX.03-6262-3978
営業時間：平日10:30～20:00 | 土日祝日11:00～18:00
定休日：12月31日、1月1日

おみやげはやっぱり物産館 福島

福島駅西口すぐ 福島県観光物産館
●JR「福島駅」西口より徒歩3分
webはコチラ

福島県福島市三河町1番20号 コラッセふくしま1階
TEL.024-525-4031 FAX.024-536-3188
営業時間：9:30～19:00
定休日：年中無休

(公財) 福島県観光物産交流協会 〒960-8053 福島県福島市三河町1-20 (コラッセふくしま7階)
[総務部] TEL.024-525-4080 FAX.024-525-4097

NO FAKE

福島民友

ご購読のお申し込みは ☎ 0120-152214へ

イメージキャラクター(女優) 筒内夢菜

企画寄稿

ホープツーリズムに参加して



中部国際空港株式会社
航空営業部
営業第一グループ
マネージャー
森 勇樹

東日本大震災と原子力災害からの復興に取り組む福島のありのままの姿に直接触れることで、教訓を得る学びの旅「ホープツーリズム」。昨年10月に、セントレアー福島チャーター便によるホープツーリズムの実施に御尽力いただくとともに、自らも御参加いただいた、中部国際空港株式会社森勇樹様から参加の経緯や感想を寄稿いただきました。

この度は、会報誌への寄稿という貴重な機会をいただき、ありがとうございます。初めに、昨年実施したホープツーリズムに参加し、そこで感じたことや学んだことの中で、最も大きな気づきを紹介いたします。それは「日本に住んでいる以上、どこにいても地震・津波・原子力発電所事故にあう可能性がある」という、実は当たり前のことや「東日本大震災という非常に多くの尊い命が犠牲になった大災害から学び、次の大災害が起こった時に一人でも多くの命が守られるようなアクション

品を作ることもできません。よって、私が感じたことを航空会社や旅行会社の方に伝え、実現を目指すしかありません。具体的な取り組みは紙面の都合上、割愛しますが、フジドリームエアラインズ(FDA)が航空機を用意し、HISが旅行商品を造成することにより、福島訪問から約一年後の2020年10月に中部圏初のホープツーリズムが実現されることになりました。



コミュタツ福島

を起こせるようにしなければならぬ」ということです。これら学ぶ最も有意義な機会がホープツーリズムであると考えるのですが、私がこのような考えに至るまでの経緯について、書き進めていきます。

私は、中部国際空港株式会社の航空営業部という部署に所属しており、航空会社への新規路線誘致等を担当しています。新規路線誘致は空港会社が単独で取り組んだところで効果は小さく、「就航先の皆様と共同で誘致に取り組めるかどうか」が最も重要なポイントだと考えています。よって、福島ー中部(セントレア)路線の再開に向けて「まずは福島に行

き、福島の皆様と相談してみよう」と行動したことが、私と福島の皆様、そしてホープツーリズムとの出会いでした。

2019年11月に福島を訪問しましたが、いつもの出張では、訪問先の皆様との面談や旅行者向け観光地等の視察が多い中、福島で紹介いただいたのは、「コミュタツ福島」「Jビレッジ」「東京電力廃炉資料館」といった場所でした。これにより、私の頭と心の中に2011年の震災と原子力発電所で起きたこと、そこから現在に至るまで福島で続いていること等が、大量の情報と強烈な印象とともに流れ込んできました。この瞬間から航空路線再



葛尾村

開という思いに加え、「多くの方に福島のことを知って欲しい」「空港会社社員として何ができるか」を考えることになりました。福島への出張で、ホープツーリズムという「新しい旅の形」があり、多くの方が福島の現在から学んでいることを知った私は「中部地域発のホープツーリズム実施」を考えることになりました。しかし、空港会社は航空機を持っていませんし、旅行商



請戸小学校

今年も昨年同様、中部発のホープツーリズムを企画いただいています。コロナ禍により先行きは不透明ですが、私が体験することができた学びや気づきを是非多くの中部地域の皆様に共有するためにホープツーリズムの継続に向

「アクシオンを起こしたのか」を学び、空港でもしものことがあった時の心の持ちよう、また使命感を再確認しました。葛尾村では今後日本が迎えるであろう「人口減少・超高齢化社会」に対する一つの解となるような取り組みを知ることができ、富岡町の帰還困難区域の訪問では震災から9年が経過した今も、家屋の入り口がガードレールで塞がれ、自由に立ち入りできない状況を目の当たりにしました。浪江町では、2021年10月からの一般公開が決定された請戸小学校校舎や現在は慰霊碑が立つ当時の避難場所を訪問し、日頃の訓練の重要性などを学びました。

いづれの場所においても、現地を訪問し、実際に自分の目で見て、耳で聞いて、肌で感じるということの重要性を強く感じました。

最後にになりましたが、今年も昨年同様、中部発のホープツーリズムを企画いただいています。コロナ禍により先行きは不透明ですが、私が体験することができた学びや気づきを是非多くの中部地域の皆様に共有するためにホープツーリズムの継続に向



富岡町 帰宅困難区域

けて取り組んでいきたいと思えます。その先には、まだ夢を描いている段階ではありますが、例えば、日本中(世界中)から飛行機で福島を訪れ、そこからホープツーリズムが始まるという仕組みで未来の命が守れないか、各地域の防災担当や教師、日本中の高校生が修学旅行等で福島を訪問する仕組みができないか、など考えていますが、いづれも空港会社が単独で実現できることではないため、引き続き関係する皆様に相談しながら、一歩ずつ前に進みたいと思っています。

この度は貴重な機会をいただき、ありがとうございます。

特別寄稿

東京2020オリンピックの
福島県開催

福島県文化スポーツ局
オリンピック・パラリンピック推進室

1 はじめに、東京2020大会の理念「復興五輪」

2011年（平成23年）7月、2020年大会開催都市への立候補を正式に表明した東京都は、招致の目的の1つとして、東京2020大会を震災復興に資するとともに、世界から受けた支援に対する返礼の場とすることを掲げました。東日本大震災からの復興は東京2020大会の重要な開催意義であり、招致以来の源流です。

2 県営あづま球場の改修

（公財）日本ソフトボール協会や、県内野球競技団体が構成される福島県野球団体協議会からの県営あづま球場の人工芝の要望等を踏まえ、福島県では、2018年（平成30年）1月29日、第4回2020年東京オリンピック・パラリンピック関連事業推進本部会議を開催し、県営あづま球場の改修方針を決定しました。

i グラウンドの人工芝化

県営あづま球場の内野は黒土、外野は天然芝で覆われていましたが、雨が降ってもすぐ乾いて試合ができるよう、グラウンド全面を人工芝に改修しました。プロ野球チームのホームスタジアムでも使用され

ている人工芝で、天然芝のグラウンドに比べ排水性、クッション性が向上し、金属スパイクを履いての利用も可能です。また、屋内練習場やブルペンも併せて人工芝になりました。

iii エレベーターを新設

球場の正面入り口脇に11人乗り1基を新設。2階のコンコース、バックネット裏の内野スタンドにつながる3階スタンドまで乗降できます。

ii 車いす用観覧席の増設

車いす用観覧席を16席増設し、30席となりました。また、スタンドまでの車いす用昇降機も増設しました。

【福島県における競技開催決定まで】

2013年9月7日
東京都が2020年オリンピック・パラリンピック競技大会開催都市に決定

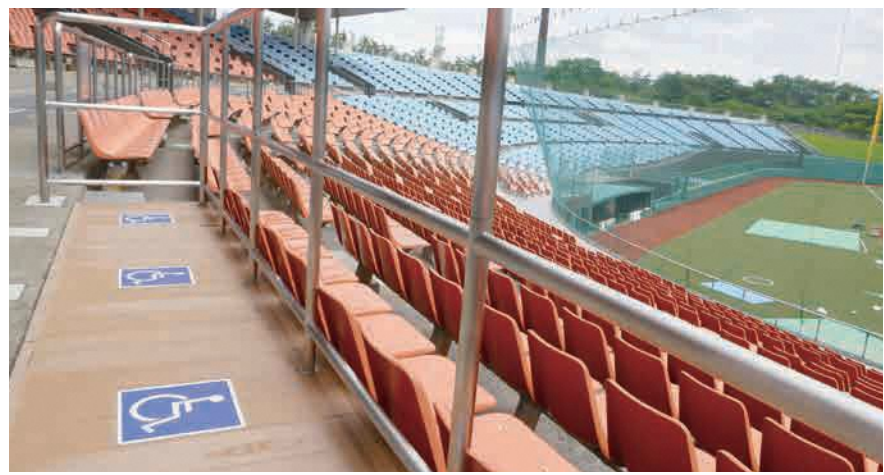
2014年12月12日
福島県が競技誘致を目指す意向を表明

2015年9月28日
東京2020大会の追加種目に野球・ソフトボールが決定

2016年8月31日
福島県が「野球・ソフトボール競技の本県開催に関する要望書」を提出

2016年11月9日
WBSCのフラッカーリ会長が来県し、県営あづま球場と開成山野球場の県内2施設を視察

2017年3月17日
福島県での野球・ソフトボール競技の開催が決定



iv 外野席の改修

外野席は観戦しやすいように人工芝が敷かれ、階段状になりました。

v 屋内設備もリニューアル

選手ロッカーやシャワー室の改修を行いました。また、様々な国からの観覧者が使いやすいよう球場内全てのトイレを洋式化しました。

2019年（令和元年）9月に改修工事が完了（エレベーターは2020年（令和2年）3月に完了）し、県営あづま球場はオリンピック仕様に生まれ変わりました。



改修された選手ロッカールーム



3 東京2020大会の延期決定

2020年（令和2年）3月24日、新型コロナウイルス感染症が世界に拡大する中、安倍総理、東京2020組織委員会の森会長、東京都の小池知事、橋本オリパラ大臣とIOCのバッハ会長が電話会談を行い、東京2020大会を中止ではなく延期とすることが合意されました。

また、遅くとも2021年夏までの実施に向けて具体的に検討することが決まりました。この決定は、Jヴィレッジで行われる東京2020オリンピック聖火リレーグランドスタートの2日前でした。

2020年（令和2年）7月17日、東京2020組織委員会から、競技日程及び会場が発表され、ソフトボール開幕戦が開会式の2日前に行われるなど、期前と同様の日程で開催されることが決定しました。

【県営あづま球場における
競技日程】

ソフトボール競技
2021年7月21日・22日
※1日3試合
野球競技
2021年7月28日
※1試合



無観客開催となった県営あづま球場



9月16日、野球日本代表の稲葉篤紀監督、ソフトボール日本代表の宇津木麗華ヘッドコーチが金メダル獲得の報告のため、県営あづま球場を再び訪問した



福島駅西口の懸垂幕



福島駅西口の階段装飾

5 東京2020オリンピック野球・ソフトボール競技の開催
 7月21日から28日にかけて、県営あづま球場において、ソフトボール6試合、野球1試合が行われました。新型コロナウイルス感染症の影響により無観客開催となりました。
 福島で勝利した野球・ソフトボール日本代表は金メダルを獲得しました。また、本県ゆかりの選手が多数出場し、活躍しました。

4 オリンピック聖火リレーがJヴィレッジからグランドスタート
 2021年(令和3年)3月25日、福島の復興のシンボルであるナショナルトレーニングセンターJヴィレッジからオリンピック聖火リレーがグランドスタートしました。2011年のFIFA女子ワールドカップで優勝したサッカー女子日本代表「なでしこジャパン」のメンバーが第1走者を務め、オリンピック聖火リレーは、福島県から121日間の旅のスタートを切りました。
 福島県オープニングパフォーマンスでは、伝統芸能やフラダンスなどが披露され、これまでのご支援に対する感謝と復興の進む福島の姿を発信しました。
 Jヴィレッジでのグランドスタートは無観客開催となりましたが、福島県内のリレーは、公道での走行が実施されました。観覧するお客様には、密にならないよう、間隔をあけていただくなど、感染症対策をし、27日までの3日間、県内59市町村ゆかりのランナーが聖火をつなぎました。



第一走者のなでしこジャパン (Photo by Tokyo 2020)

DAY-1	DAY-2	DAY-3
2021.3.25 Thu	2021.3.26 Fri	2021.3.27 Sat
<ul style="list-style-type: none"> ① グランドスタート (Jヴィレッジ) ② Jヴィレッジ ③ 相馬市 ④ 川内村 ⑤ 葛尾村 ⑥ 浪江町 ⑦ 楡葉町 ⑧ いわき市 ⑨ 双葉町 ⑩ 南相馬市 ⑪ 広野町 ⑫ 富岡町 ⑬ 大熊町 ⑭ セレブレーション (雲雀ヶ原祭場地) 	<ul style="list-style-type: none"> ⑮ 飯館村 ⑯ 福島市 ⑰ 三島町① ⑱ 会津若松市 ⑲ 新地町 ⑳ 福島市 ㉑ 三島町② ㉒ セレブレーション (鶴ヶ城公園) ㉓ 猪苗代町 ㉔ 喜多方市 	<ul style="list-style-type: none"> ㉕ 南会津町 ㉖ 本宮市 ㉗ 郡山市 ㉘ 下郷町 ㉙ 須賀川市 ㉚ セレブレーション (開成山公園) ㉛ 白河市 ㉜ 田村市 ㉝ 雲雀ヶ原祭場地

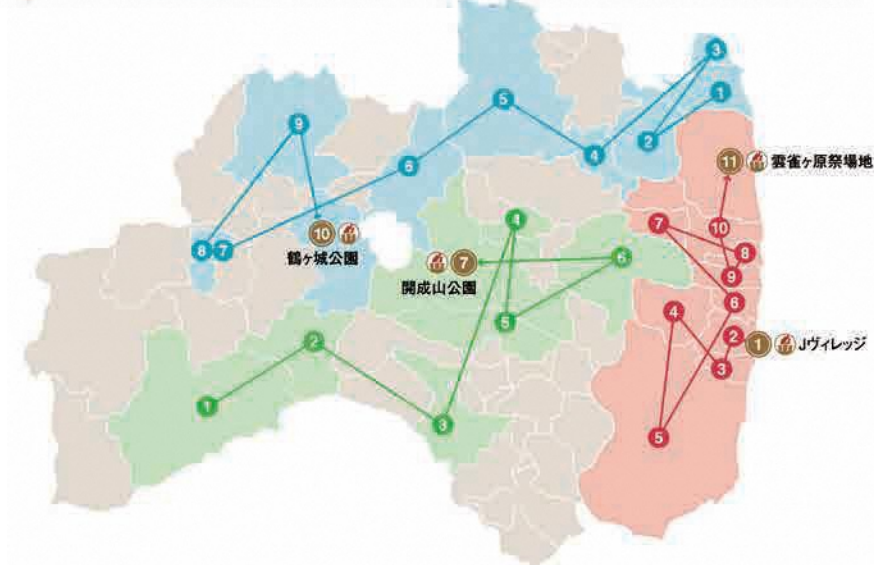


Photo by Tokyo 2020



Photo by Tokyo 2020

6 福島県産品の活用

大会期間中、県産農林水産物を始め、伝統工芸品、再生可能エネルギーから作られた浪江町産の水素など多くの県産品が様々な場面で活用されました。



新国立競技場の聖火台に、福島県産の水素が燃料として使用された (Photo by Tokyo 2020)



福島県産のトルコギキョウ、ナルコランが採用されたピクトリーブーケ (Photo by Tokyo 2020)



選手村等で使用された福島県産木材



公式グッズに採用された福島県の伝統工芸品

7 県民の参加

高校生が育てた草花によるオリンピックシンボル(五輪マーク)花壇の装飾や、県内59市町村の参加によるパラリンピック聖火など、コロナ禍の制約はありましたが、多くの皆さんに参加いただきました。



福島明成高校の生徒によるオリンピックシンボル花壇の制作



子どもたちが参加したパラリンピック聖火の種火起こし(双葉町)



パラリンピック聖火福島県集火・出立式

8 不完全燃焼に終わった取組

新型コロナウイルス感染症の影響により、主に観光案内等に従事する予定だった「都市ボランティア」の活動、子どもたちの競技観戦招待、県内各地で予定されていた「ライブサイト」や「パブリックビューイング」、あづま球場周辺でのイベントの開催等の取組が中止または規模縮小を余儀なくされ、福島県における東京2020大会の取組を進めていく上で掲げていた「参加・発信・交流」に課題が残りました。

また、東京2020大会に向け、海外選手団の事前合宿受け入れや大会後の交流準備を進めていた福島県内の「ホストタウン」は6市2町1村、「復興ありがとうホストタウン」は6市3町2村、「共生社会ホストタウン」は1市1町が登録されていましたが、大会期間中に実際に交流できたのは、3市2町(6カ国13競技の事前合宿を実施)にとどまりました。

選手等と直接触れ合っただけの交流はできませんでしたが、相手国から、心のこもったメッセージビデオや御礼の手紙が届くなど、市町村、相手国・地域共に、大会以降も引き続き交流を継続したい意向を持っています。



二本松市で実施されたクウェートの空手競技事前合宿



オリンピック聖火リレーセレブレーション会場で来場者の受付と手指消毒を行う都市ボランティア

9 おわりに、復興の加速化に向けて

i 競技団体との連携、国際交流の継続 関係団体等と連携しながら進めてきた取組を大会レガシーとして今後につなげてまいります。都市ボランティアの活動機会の創出、子どもたちとオリンピック・パラリンピアンとの交流機会の継続、あづま球場やJヴィレッジを活用したスポーツによる交流人口の拡大、ホストタウンを契機とした継続的な国際交流などの取組を関係団体等と連携しながら進め、復興のさらなる加速化につなげてまいります。

ii 風評の払拭

大会期間中、コロナ禍など厳しい状況の中にあっても、福島に関する好意的な発信が大きな力となりました。また、本県は、これまでの交流やオリンピック・パラリンピックで深まった絆を活かし、国内外へ向け本県の復興の姿やこれまでの支援に対する感謝の気持ちを、様々な手法を用いて発信しながら、本県についての正しい情報や魅力を積極的に伝えていくなど、部局連携による風評の払拭及び風化の防止に一層取り組んでまいります。

観光誘客につきましては、本県の復興の

姿や地域の魅力を効果的に発信し、特に海外から多くの方々を訪れていただけるよう、積極的に取り組んでまいります。農林水産関連では、県産木材の建築資材としての活用、トルコギキョウやナルコランのピクトリーブーケへの使用などを通して、生産者の誇りや復興支援に対する感謝を国内外へ発信してまいりました。特に、桃に関しては海外の選手団やメディアから好評をいただき、SNS等での発信もされました。また、第三者認証GAPの取得を促進することで、県産農林水産物の安全性や魅力等について情報発信を行い、ブランド力強化を図りました。今後も、効果的な情報発信等により、販路の拡大や輸入規制の撤廃等の課題解決に引き続き取り組んでまいります。





福島県名古屋事務所長
(東海福島県人会
事務局長)
佐藤 敏行

関本会長をはじめ、役員の皆様、会員の皆様には、日頃より県人会活動を通じ、ふるさと福島に多大な御支援をいただき、深く感謝申し上げます。

私は昨年4月に名古屋事務所に着任しましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、県人会活動が思うようにできず、会員の皆様とお会いする機会も作れず、今に至っており、大変残念でなりません。

今年、東京2020オリンピック・パラリンピックの聖火リレーが福島県のJビレッジからスタートし、野球・ソフトボールの試合があつま球場で開催されました。福島県としては、国内外から多くの方に来ていただき、震災からの復興の姿を直接見て、県産品を味わっていただくことで、福島の魅力を広く発信する絶好の機会になるものと期待して、準備をしておりました。が、コロナ禍でいずれも無観客となり、思い描いていたものとは大きく異なる形での開催となってしまいました。



主事
舟山 博貴

今年の四月に名古屋事務所に着任しました、舟山博貴と申します。よろしくお願いたします。

新型コロナウイルス感染症の影響で皆様に直接お会いしての御挨拶ができませんでしたので、この場をお借りして簡単に自己紹介させていただきます。

私の生まれは山形県米沢市で、高校卒

当事務所においても、企業訪問等の外回りを積極的に行うことができず、例年参加していたイベントの多くが中止となるなど、様々な事業で大きな影響を受けており、非常に苦慮しているところです。

しかしながら、このような厳しい状況の中でも、何とか実施することができた事業がいくつかございますので、その一部を御紹介させていただきます。

1. NHK朝の連続テレビ小説「エール」を契機とした豊橋市との交流

昨年は、福島市出身の作曲家、古閑裕而氏と、豊橋市出身の妻金子さんをモデルとしたNHK朝の連続テレビ小説「エール」が放送され、これを契機として、豊橋市との交流の機会を多く作る事ができました。今年3月には、豊橋市の協力で、豊橋市役所内で本県の復興の歩みをパネルで紹介する「東日本大震災から10年。福島県復興の歩み展」を開催していただきました。初日は、浅井由崇豊橋市長が来場され、私からパネルを使って説明をさせていただきました。浅井市長から福島との交流をこれからも深めていきたいと仰っていただき、これからの縁を大切にしたいと考えております。



2. 県産品のPR、販売

(1)ふるさとフェア(全国センター合同物産観光展)

昨年12月に、名古屋市の金山総合駅イベント広場において、13県合同で、「ふるさとフェア in 金山(全国センター合同物産観光展)」を開催しました。福島県のブースでは、定番のお菓子や浪江焼きそば、喜多方ラーメンなどの他、近年評価が高まっている福島県産日本酒を多く取り揃えて販売しました。特に、日本酒の売れ行きがよく、最終日を迎える前に完売となりました。



(2) ふくしま日本酒フェア

岡崎信用金庫(本店・愛知県岡崎市)の御協力により、福島県産日本酒や物産を販売する「ふくしま日本酒フェア」を今年の4月に岡崎市にて開催しました。このフェアは、岡崎信用金庫より、東日本大震災からの復興支援を目的として、震災から10年の節目に、「ふくしま日本酒フェア」を実施したいとの御提案をいただき、開催に至ったものです。フェア開催にあたり、岡崎信用金庫の皆様をはじめとする多くの方々から事前注文があり、コロナ禍で販売に影響が出ている福島県産日本酒の売上げに大きく貢献いただきました。これらの他にも、福島を応援していただける方々の多大な御協力によって、様々な事業を展開することができました。

今後も、新型コロナウイルスの感染状況に留意しながら、東海地方で福島県の魅力を発信していきたいと考えておりますので、県人会の皆様には、引き続き御理解、御協力のほどよろしくお願いいたします。

業まで実家におりました。福島には大学入学を機に移住しそのまま就職したので、福島県民になって10年以上が経過したことになります。10年も住んでいると、甲子園といえば聖光学園、サッカーといえば尚志高校(それぞれ今年はずいぶん違う)など福島ビイキになっていたり、また、メディアで福島が褒められると自分がそうされているかのようにとても嬉しく感じたりと、自分が心の底から福島県民になつていくなのだと実感することが多々あります。

り外出を控える必要があったのでなかなか行えていませんが、ワクチン接種が2回とも完了し、感染者数が減少傾向で落ち着いてきたので、そろそろ再開したいと思っております。皆様がおすすめの駅や町、名所等がございましたら是非教えてください。

また、お酒を飲むことも趣味の一つです。お酒を覚えた場所が全国でも有数の酒どころの福島だったこともあり、特に日本酒が大の好物です。私が初めて飲んだ日本酒は鶴野江酒造の「ゆり」でしたが、そのおいしさに衝撃を受けて以来、数々の福島のお酒に手を出しのめり込んでいきました。名古屋に異動してくる前の勤務地である南会津では、南会津4酒蔵の日本酒を毎日のように晩酌し、その習慣があつたせいか10kg以上体重が増え、何着のスーツを処分することになったか数えきれません。皆様の好きな日本酒の銘柄はどちらでしょうか。

以上が自己紹介になりますが、最後に、今年度は昨年に引き続き総会を畫面開催とせざるを得ず、皆様とお会いする貴重な会を開くことができ、元氣なお姿でお会いできることを楽しみにしております。それまでどうか御身体に気を付けてお過ごしください。

趣味はスロージョギングです。スロージョギングとは、歩くスピードでゆっくり走ることです。私は一度も降りたことのない駅まで電車で移動し、その周辺をゆっくりと走ることにしています。その魅力としては、観光マップに載っていないようなお店、きれいな景色など地元の方しか知らないような名所を発見できることです。また、デスクワークが多い職種です。運動不足になり不健康になりがちですが、いつの間にかカロリーを消費しているのも魅力です。福島では主に会津地方で走っていましたが、只見線沿いは特に美しい風景が多く、走ることを忘れ見入ってしまったことが多々ありました。名古屋に来てからは新型コロナウイルス感染症によ

福島交通 夜行高速バス
名古屋⇄西郷・須賀川・郡山・二本松・福島
 名鉄バスと共同運行 **好評運行中!!**

●運賃
 郡山まで 8,000円 ~ 11,000円
 福島まで 8,000円 ~ 11,500円
 ※出発日により運賃が異なります。

●所要時分
 郡山まで 9時間26分 福島まで 10時間21分

おすすめポイント
 ○全席リクライニングシートでコンセント、カーテンを備え付けております。
 ○運転士2人体制にて名古屋～福島間を運行しておりますので安全体制も充実しております。
 ○トイレ付車両で運行しているからとっても安心です。 お飲み物を無料提供しております。
 ○無料Wi-Fiを完備しており、移動中の車内が快適にお過ごしいただけます!!

予約・お問い合わせ
 名鉄バス高速バス予約センター TEL052-582-0489 (受付時間 8:00~19:00)
 福島交通株式会社 <https://www.fukushima-koutu.co.jp>

会員からの便り

中山道踏破を目前にして



会津若松市出身
小林 秀明

会津若松市から名古屋に移り住んで以来、東京へ京都間を徒歩で、と考えていました。五年前に、ある旅行会社が「中山道を歩いてみよう」といった企画の商品を出したので、迷わず応募。五年を掛けて宿場間を少しずつクリアしていきます。内容は、私は後一回の参加で踏破となります。

中山道とは、江戸時代に整備された五街道の一つであり、京都の三条大橋と江戸の日本橋を結ぶ街道です。東海道と比べて険しい山道が多く、木曾三川を過ぎると峠の連続です。特に長野県内の峠は石畳で舗装されている箇所がほとんどありません。実際に歩いてみると、当時は相当大変な旅だったと容易に想像できます。中でも、私が特に想い出に残っているのは、関ヶ原、福島宿の関所、碓氷峠です。関ヶ原は皆様も御存知のとおり、豊臣方の西軍と徳川方の東軍による天下分け目の決戦が行われた場所で、非常に感慨

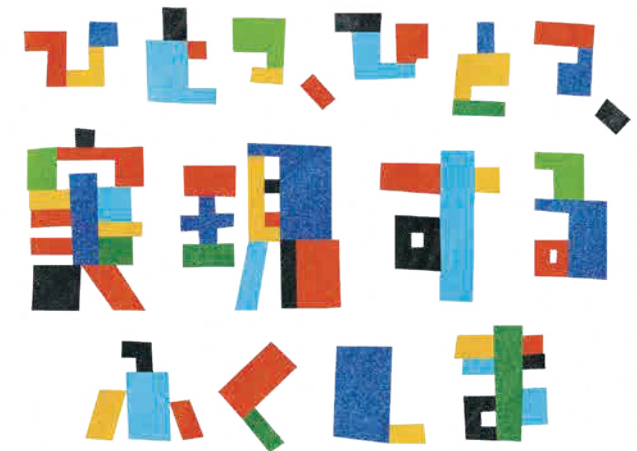
深いものがありました。ここは高校二年の修学旅行でも訪れたことがあり、その時に眠気腫で「関ヶ原古戦場」の碑を見たことを懐かしく想い出しました。福島宿の関所は往時の姿が忠実に復元されており、「入鉄砲に出入」の役人の厳しい検閲の様子が資料や道具で示されていたのが印象的でした。

碓氷峠では現在使われていない信越線アーチ型鉄道とトンネルの大スケールに感動するとともに、現役時代に出張で峠の釜飯を頼張りながら通ったことを思い出しました。利根川に掛かる日本一長い橋を渡り、深谷市で現在放送されているNHK大河ドラマ「青天を衝け」の主人公である渋沢栄一の歴史を辿りました。

残り草津宿から浦和宿までの10〜15km区間のみとなり、五年掛かりの中山道行脚も十月六日、七日、八日で幕を閉じます。新型コロナウイルス感染症により大幅に予定が遅れてしまいましたが、多くの時間と体力を費やした中山道踏破は、自分にとって人生最大の価値あるものです。興味のない人には何をしているのだろうかと言われそうですが、私個人としては500kmを超える長旅を、当時の人々に思いを馳せながら歩いた達成感で、ヤッター!!と思えます。興味のある方、

若しくは興味を持たれた方がいらっしゃれば、いろいろアドバイスしますので、ぜひ御連絡ください。

最後に、毎年私に投稿の機会を与えてくださる県人会広報委員の皆様と、これを読まれた会員の皆様へ感謝の意を表します。謝謝!!



「はじめよう」から、「実現する」へ。福島県の新スローガンです。

震災から10年を機に、福島県は、「ふくしまから はじめよう。」からのバトンを渡す、新スローガンを策定しました。「はじめる」から、「かなえる」へ。ひとりひとりの力を重ね、それぞれの思いを繋ぎ、ともに、ひとつずつ、しっかりと、カタチにし続けていこうと。



東海福島県人会会員名簿(令和3年10月1日現在)

氏名	出身地	氏名	出身地	氏名	出身地	氏名	出身地
あ 浅沼 定雄	会津	木全 正夫	浜通り	高信 善人	中通り	藤田 ハル子	浜通り
安西 正敏	会津	木村 淳子	中通り	高橋 信雄	中通り	二面 謙一	浜通り
安藤 泰子	会津	國分 敬一	中通り	高橋 美夫	中通り	古市 候史	浜通り
五十嵐 強	会津	小林 秀明	会津	竹野 保吉	中通り	星 金次	会津
石井 五郎	中通り	小室 洋文	中通り	田崎 実	会津	星野 勝	会津
石井 徳茂	中通り	紺藤 義雄	中通り	谷 玄信	会津	星 芳雄	会津
石井 弘子	岩手県	さ 齋藤 隆夫	浜通り	都築 陽子	中通り	本田 健司	中通り
石川 博三	中通り	佐治 孝	会津	な 中井 廣子	中通り	ま 前野 康夫	会津
伊藤 千晴	愛知県	佐竹 正和	会津	長井 政造	会津	牧原 伸一郎	会津
市川 友久	中通り	佐藤 恭平	会津	長坂 牧子	中通り	松浦 清彰	中通り
伊藤 盛恵	会津	佐藤 長蔵	中通り	永沼 輝子	中通り	松野 博朗	浜通り
岩崎 信彦	浜通り	佐藤 博	浜通り	永沼 宣洋	中通り	三浦 武	中通り
江上 直子	中通り	佐藤 まさひさ	中通り	中野 玉代	中通り	水谷 正巳	愛知県
大内 哲男	会津	佐藤 祐次	中通り	中村 伊佐夫	会津	三井 正春	会津
大島 暁爾	会津	三瓶 長雄	会津	七海 正三	浜通り	三森 光三	中通り
太田 賢一	中通り	塩見 奈保美	浜通り	新妻 秀規	その他	宮島 徹也	会津
大竹 敦	中通り	鹿戸 恒雄	中通り	根本 昭二郎	浜通り	毛利 京申	北海道
大束 祥順	会津	宍戸 カヨ	中通り	野内セサル良郎	中通り	森 孝一	浜通り
大坪 信仁	愛知県	下山田 二三夫	中通り	野地 次雄	中通り	や 柳内 芳彦	浜通り
大野 範章	会津	白土 次郎	浜通り	能登 紀子	中通り	矢吹 孝男	中通り
大場 米子	中通り	神 正	会津	は 橋本 一弘	中通り	矢吹 哲男	中通り
大原 隆弘	会津	菅野 洋幸	中通り	籾野 彩華	中通り	湯浅 武美	会津
岡崎 孝子	中通り	鈴木 康一郎	静岡県	服部 民夫	愛知県	横田 一伸	浜通り
岡村 敬子	中通り	鈴木 幸喜	会津	馬場 俊介	会津	吉田 親	中通り
か 笠間 忠英	会津	鈴木 志	中通り	早川 慶子	浜通り	吉田 太一	浜通り
加藤 多美子	中通り	鈴木 力夫	会津	林 敏明	浜通り	吉田 弘	中通り
亀井 利香	浜通り	関 巖	会津	原田 正道	中通り	わ 脇谷 愛	中通り
萱野 路子	会津	関本 幸夫	会津	平井 松枝	浜通り	渡邊 次彦	中通り
菊池 隆雄	中通り	た 高木 豊	中通り	平塚 武	会津	渡部 守	会津
北川 美恵子	浜通り	高崎 泰	中通り	藤田 真吾	会津		